

にしごう

福祉のひろば

発行日／平成26年5月1日
発行所／社会福祉法人西郷村社会福祉協議会

事務局／西郷村大字熊倉字折口原96番地1
印刷所／ふじ印刷株式会社



4月4日(金) 西郷村高齢者生活支援センター「西郷村赤十字奉仕団総会」の様子(本文4ページ掲載)

にしごう福祉のひろば 第123号

発行 西郷村社会福祉協議会
所在地 西郷村大字熊倉字折口原96-1
電話 0248-25-5454



● 発行 ●
26.5.1

＋ 日赤社員増強運動月間 ＋

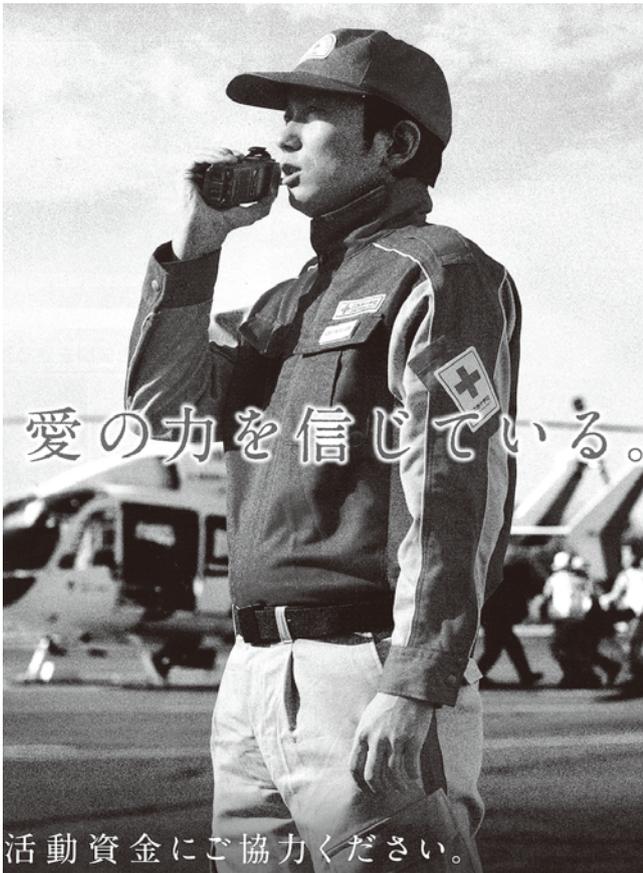
毎年五月は、赤十字社員増強運動月間です。日本赤十字社の創立が五月であり、また赤十字の父アンリー・デュナン、看護婦の母ナイチンゲールがともに五月生まれであることから、五月を「赤十字月間」と定めて全国的に社員の募集を行っております。本村でも日赤西郷村分区を中心に行政区長さんのご協力のもと、この運動が展開されております。

日本赤十字社では、みなさまに納めていただいた社資により、さまざまな事業活動を行っております。身近なところでは、血液事業・医療事業や災害救護事業・幼児安全法、救急法、健康生活支援講習会等の普及など広く活用され、また国際活動なども多く知られております。

東日本大震災から三年が経過しますが、日本赤十字社では発災直後から避難所等での救護・救援活動を行うとともに様々な復興支援事業を行ってまいりました。県内でも復興に向けての取り組みがなされておりますが、依然として多くの方が避難し不自由な生活を強いられております。

これらの活動は、みなさまの納入されます社資によって支えられておりますので、一人でも多くの方々が赤十字活動に理解され、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

また、日本赤十字社では、特別社員制度（二千元以上で十年以内）や、納めていただく金額に応じて表彰される有功章制度があります。なお、みなさまに納めていただきました社資は全額、日本赤十字社福島県支部へ送金いたします。



愛の力を信じている。

活動資金にご協力ください。

日本赤十字社 福島県支部
 人間を救うのは、人間だ。Our world. Your care.
 0570-00855

赤十字マークの意味と約束事

赤十字マークは、戦争や紛争などで傷ついた人々と、その人達を救護する軍の衛生部隊や赤十字の救護員・施設等を保護するためのマークです。紛争地域で「赤十字マーク」を掲げている病院や救護員などは、絶対に攻撃を加えてはならないと国際法や国内法で厳格に定められています。つまり、赤十字マークは、いざという時にわれわれ国民一人ひとりを守るマークなのです。また赤十字マークは、病院や医療を象徴するマークだと思っている方も少なくないようですが、このようにとても大切な意味をもつマークであり、その使用については赤十字社と法律等に基づいて認められている組織に限られています。もちろん、一般の病院や医薬品に使用することは禁止されています。

ちなみに、赤十字マークの配色は、赤十字の創立者アンリー・デュナンの祖国であるスイスに敬意を表して、スイス国旗の配色を逆にしたものが基になっています。

西郷村社会福祉協議会 第三者委員

(敬称略)

北島 民治 (きたじま たみじ)

☎ 二五―一三二二

真船 豊 (まふね ゆたか)

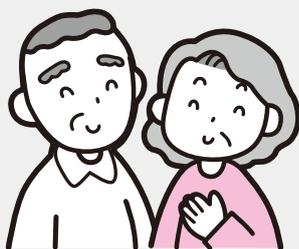
☎ 二五―四一九七

鈴木 和子 (すずき かずこ)

☎ 二五―二四一七

● 第三者委員とは

苦情解決を行っていくうえで、苦情申出人が事業者に対して苦情を言いにくい場合に解決に向けての支援及び助言を行ったり、事業者と利用者との話し合いで利用者側でも事業所側でもない中立的（第三者的）な立場で話し合いに参加し、苦情申出人と事業者双方の言い分を聞き、客観的な判断のもと苦情解決に向けたアドバイスを提供します。



平成26年度 予算と事業計画

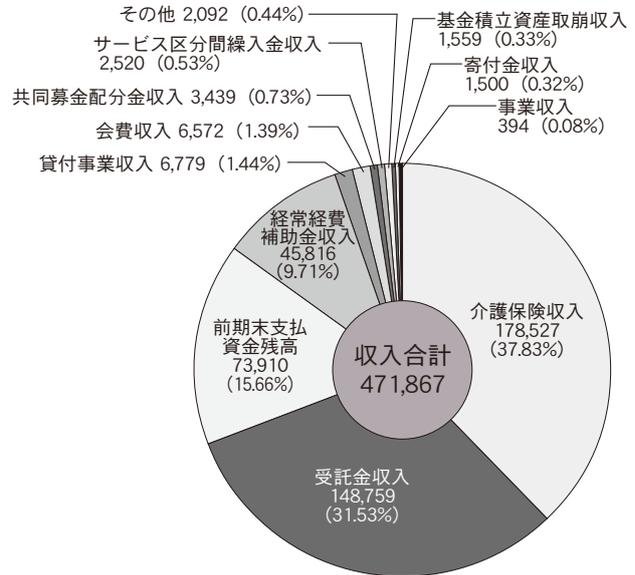
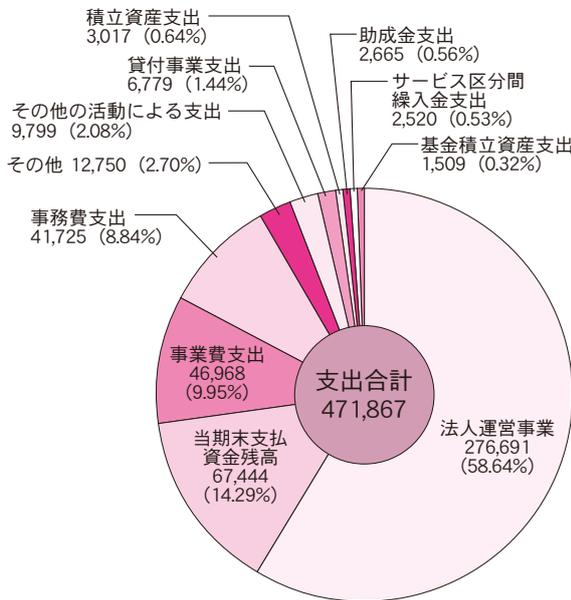
平成26年3月27日に理事会、3月28日に評議員会が開催され、平成26年度一般会計資金収支予算が議決されました。昨年度も村民皆様のご支援ご協力により各種福祉事業を実施する事ができました。誠にありがとうございました。

本年度は、西郷村と連携して「西郷村中部地区高齢者福祉トータルサポートセンター」を設置し、高齢者福祉の総合窓口として高齢者の総合的な支援を行います。ボランティア育成事業では、傾聴ボランティア講習会を開催し、傾聴ボランティアの活動をスタートする計画です。また、東日本大震災から3年が過ぎましたが、村内にはまだ多く避難されている方々がおられます。引き続き生活支援相談員を中心に支援活動に取り組みます。

地域の方や民生児童委員協議会、福祉・ボランティア団体、行政等と連携強化に努め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めて行きます。

平成26年度 一般会計のあらまし

単位：千円



平成二十六年 事業計画

《主な事業》

- 指定訪問介護事業所・指定訪問入浴介護事業所の運営
- デイサービスセンター
- 「やすらぎの家」「ふれあいの家」の管理・運営
- 西郷村立「みずほ保育園」の管理・運営
- 西郷村地域包括支援センターの運営
- 指定居宅介護予防支援事業所の運営
- 西郷村中部地区高齢者福祉トータルサポートセンターの運営
- 指定居宅介護支援事業所の運営
- 西郷村高齢者生活支援センターの管理・経営
- 子育て支援受託事業「つどいのひろば」
- 西郷村ファミリーサポートセンター受託事業（子供預り事業）
- 地域福祉ネットワーク受託事業（ボランティアセンター）
- 生活支援相談員配置事業（避難者への見守り・支援）
- 高齢者生きがい活動支援通所受託事業
- 介護認定調査受託事業
- 介護予防支援サービス計画作成業務受託事業
- 軽度生活支援事業
- 地域福祉活動の推進
- 高齢者福祉活動の充実強化
- 心身障がい児者福祉事業
- 児童及び子育て世代の福祉事業
- ボランティア育成事業
- 健康と生きがいづくり推進事業
- 生活支援事業（心配ごと相談会の開設）
- 日常生活自立支援事業（あんしんサポート）
- 福祉制度資金等の貸付
- 各種福祉募金等運動の推進（日赤・共同募金・社協会費）
- 福祉団体の育成・助成（民生児童委員協議会・老人クラブ連合会・手をつなぐ親の会・赤十字奉仕団・身体障害者福祉会・遺族会）
- 各種大会への参加
- 職員研修の促進と各種資格取得の奨励



社会福祉協議会の運営及び事業は、村民皆様の会費・寄付金などによって行なわれております。

西郷村赤十字奉仕団

被災地視察研修旅行



震災と福島第一原発事故切り離すことの出来ない大きな被害となっております。

東日本大震災で亡くなられた方々に改めてご冥福をお祈り申し上げます。

震災と福島第一原発事故切り離すことの出来ない大きな被害となっております。



震災から三年：西郷村赤十字奉仕団の研修旅行は、主に関東方面でしたが今回は被災地の岩手県、宮城県を平成二十五年十二月六日～七日の日程で研修してきました。

今までテレビや新聞の報道で見えてきましたが、三陸の漁港を目にしたときは、言葉にならず震災の恐ろしさを改めて感じました。

世界にも知られた「釜石の奇跡」とも云われた宝来館の女将さんから震災の話が聞きました。目の前が海の宝来館。駐車場に津波が押し寄せてくる中、宝来館の裏山へ避難する人々…

避難所となった、宝来館。地域住民を守った、体力、気性な気持ちで毎日の炊き出しをして頑張ったこと、感動しました。

北上川河口の大川小学校七十四名の児童さんが亡くなりました。学校は安全な場所と思っていました。私達は、北上川と学校の水位は、ほぼ0地点と見てきました。なぜ、校庭の目の前にある山へ逃げる訓練をしていなかったのか残念でなりません。子を思う親の気持ちは、深い悲しみの中にいると思います。

西郷村赤十字奉仕団副委員長 宮川成子



平成26年度(第27回)西郷村赤十字奉仕団総会



去る四月四日、西郷村高齢者生活支援センターにおいて行われ、団員六十名が参加しました。

赤十字奉仕団員の信条の唱和、「赤十字の旗」斉唱の後に、風岡長久委員長からのあいさつ、来賓の日本赤十字社福島県支部西郷村分区分長 佐藤正博様よりお祝いの言葉をいただきました。

今年度は、二年に一度の役員改選が行われ、二期目の風岡長久委員長をはじめ副委員長六名他十三名の本部役員の承認が得られました。

主な活動内容として、配食サービスへの協力、村内小中学校との合同炊出し訓練、地場祭バザー出店、研修旅行、日赤講習会等を予定しております。



委員長あいさつ

団員のみなさんの協力のもと、委員長として二期目を迎えました。以前は、副委員長として活動していましたが、委員長になつてからの不安は、色々ありました。本部役員や団員の方々の協力のもと活動を行っております。

今年度より二年間、西白河方部赤十字奉仕団連絡協議会の会長としても活動を行いますのでみなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。



星空に願いを込めて。皆さん健康を願っているようです。ちなみに職員の願い事1位は「瘦せたい」でした。



8月

夏と言えばこれが食べたくなります。子供のころにすいか割りをした記憶はありますが、大人になってやってみると、楽しいけれども難しいものです。



年に一度の敬老会では職員の意外な一面を見ることが出来ます。劇があつたり、手品があつたり、ときには女装もありました。

10月



体育の日にちなんでデイサービスも運動会を行います。ミニ運動会ですけど…

11月



秋の全国火災予防週間には、消防士さんから防災についてのお話を聞きました。職員も勉強です。

12月



年末といえば、クリスマス忘年会！1年分の疲れは吹っ飛びましたでしょうか？



7月



今ではすっかり見なくなりました団子さし。皆さん「機がしい」と喜んでくださるので職員も嬉しくなります。

2月



毎年両デイサービスには鬼が来ます。かわいい鬼のときもあれば、怖い鬼のときも。来年はどんな鬼が来ることやら…

3月

3月はやっぱりひな祭りですね。雛飾りを作ったりします。

4月



暖かくなってくると心も身体も晴々してきますね。青空のもとみんなでお花見へと出かけました。

5月



5月といえば鯉のほり。センターの中を鯉のほりが泳いでいます。

6月



梅雨時期になると身体を動かす事も少なくなってしまうので、みんなで体操をしたり、ゲームをしたり。



指定通所介護事業所 デイサービスセンター やすらぎの家 ふれあいの家

両デイサービスは、平成二十五年度も大きな事故等無く、無事一年間営業する事が出来ました。ボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には、大変お世話になりました。平成二十六年度もより良いサービスを目指して頑張りたいと思います。本年度もよろしく願っています。

西郷村身体障害者福祉会 会員募集のお知らせ

本会においては、会員の親睦を図ることと福利向上を目的とし、身体障害者に関するさまざまな活動を通して交流を深めていきたいと考えています。

本会においては、高齢化により会員の減少が進んでいるため、若い世代の方にも、是非会員になっていただき、みなさんで交流できる機会を増やしていきたいと考えています。

対象 西郷村在住で身体障害者手帳をお持ちの方

会費 ￥1,500(年間)

主な活動

- 一泊研修旅行
- 西白河郡の町村との親睦会、スポーツ大会等

詳しくは、西郷村社会福祉協議会までご連絡下さい。

電話 25-5454

「しあわせ金婚表彰」受付

福島県老人クラブ連合会では、金婚夫婦の表彰受付を行っております。次に該当する方は、単位老人クラブ会長、または西郷村社会福祉協議会(電話25-5454)へお申し込み下さい。 **募集開始 4月14日～**



- 昭和39年1月1日から昭和39年12月31日までに結婚されたご夫婦。

※なお、上記以前に結婚されたご夫婦も受付けます。



西郷村高齢者生活支援センターをご利用下さい



西郷村高齢者生活支援センターを利用することができます。1時間あたりの利用料は次のとおりです。

	基本利用料金 (8時30分～17時)
介護・予防実習室	200円
機能訓練室	300円
生活支援室	400円
ボランティア活動室	100円

※冬季(1～3月及び11～12月)は基本料金の30%増となります。
※センターの設置目的に係る使用に関しては使用料は徴収しません。
詳しくは、西郷村社会福祉協議会(25-5454)にお尋ねください。



幼児安全法講習会 開催のお知らせ!!

★もし、こどもに救急手当が必要なとき…。
 ★もし、心肺蘇生が必要なとき…。
 ★あなたは、適切な手当が出来ますか？
 社会福祉協議会では、幼児安全講習会として白河消防署西郷分署による「普通救命法Ⅲ講習会」を下記により開催いたします。ご家庭での救急時に役立つ応急手当法と一緒に学ぶための講習会です。

なお、講習会を終了しますと「普通救命講習修了証」が白河消防署より発行されます。



- 日 時：平成26年5月25日(日) 午前9時～12時
- 場 所：西郷村高齢者生活支援センター
- 内 容：「普通救命法Ⅲ講習会」
※白河消防署西郷分署員さんを講師に幼児の事故防止と応急手当や心肺蘇生法などを実践しながら学ぶ予定です。
- 締切り：平成26年5月16日(金)
- 参加費：無料
- 持参品：筆記用具 ズボン着用
- 定 員：20名 (定員になり次第しめきります。)
※託児はありませんのでご了承ください。

申込先 西郷村社会福祉協議会
 電話：25 - 5454
 住所：西郷村大字熊倉字折口原96-1

※お子さんと安全に過ごすために
 みなさんのご参加をお待ちしています。

応急・救命の 技術を身につけませんか？ (ボランティア養成講座)

西郷村社会福祉協議会ボランティアセンターでは災害ボランティア養成講座といたしまして、救急時や災害時などに自信をもって対応できるように、応急・救命の技術を身につけていただく「普通救命講習会」を開催いたします。

講習会では白河消防署西郷分署の方々、AED(自動体外式除細動器)の使用手順をご指導いただきます。

なお、講習会を終了いたしますと「普通救命講習修了証」が白河消防署より発行されます。

この機会に是非ご参加ください。

- 日 時 平成26年6月29日(日) 午前9時～12時
- 場 所 西郷村高齢者生活支援センター
機能訓練室
(住所 西郷村大字熊倉字折口原96-1)
- 講 師 白河消防署 西郷分署
- 締 切 り 平成26年6月20日(金)
- 参 加 費 無料
- そ の 他 当日動きやすい
服装でご参加ください。
- 募集人数 20名 (定員になり次第しめきります。)



申込先 西郷村社会福祉協議会ボランティアセンター
 電話：25 - 5454
 住所：西郷村大字熊倉字折口原96-1

子どもとママのための ほのぼのひろば

お子さんと毎日どのように過ごしていきますか？

放射能で悩んでいるお母さん、子育てで悩んでいるお母さん「ほのぼのひろば」に来てみんな楽しく遊んで、リフレッシュしませんか？



- 日 時 平成26年6月12日(木) 午前10時～12時
- 場 所 西郷村高齢者生活支援センター
住所：西郷村大字熊倉字折口原96-1
- 内 容 親子遊び、ママ達だけのホットタイム*

※ママ達だけのホットタイムとは…
 日頃疑問に思っている事や、ちょっとした悩みなどをグループに分かれて臨床心理士さんと一緒にお話したりする時間です。子ども達は同じお部屋で保育士さんと一緒に遊んでいただきます。

- 定員対象 4歳未満のお子さんと母親15組程度
- スタッフ 保育士・臨床心理士
- 申込締切 5月30日(金)まで
※申込用紙がありますのでお電話下さい。

**お申込
お問合せ先** 西郷村社会福祉協議会
 電話：25 - 5454
 担当：はせべまで



子どもにはやさしく、保護者には親切に みずほ保育園



2日の入園式には、33名の新入園児を迎え、今年度は、164名でみずほ保育園がスタートしました。



健康管理は
おまかせを!!

子ども達が健康で安全に園生活がおくれるように努めています。0歳児は1日3回検温しています。
(看護師 福田 峰子)



「明日から元気に
保育園に来てね♪」
年長組からの歌のプレゼント
と歓迎のことは

「保育園はとっても
楽しいよ♪」
先生方からの出し物のプレゼント
『3匹のこぶた』



「このおもちゃ
だーいすき♡」

「アーウー」と大きな
声を出しながら0歳のお友だちも
好きなおもちゃで遊んで
います。



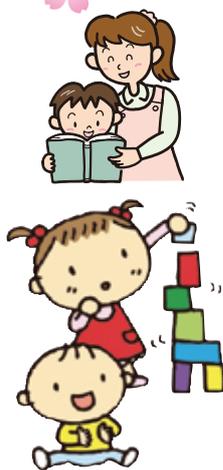
おいしく🌸かわいい
「桜の花びらカレー」



一人ひとりに合わせた離乳食やおいしい給食作りを心がけています。今年度最初の給食は、「桜の花びらカレー」でした。
(栄養士 大塚 志穂)

「先生おはよう
ございます☀」

新しいお友だちも
ご挨拶が上手です。



一時的保育も実施しています
【問い合わせ先】
TEL 25-3720